

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区わくわく散策マップ作成事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
現在配架している東区わくわく散策マップを増刷し、東区民を中心に広く配布することで、東区の地域資源・魅力の再発見や世代間交流、区民の健康づくりなどにつなげる。	東区の歴史資源や観光名所をPRすることにより区内の魅力を発信し、東区への関心や愛着を高められる。また来訪者の促進につながる東区民を中心とした多くの方に来訪を促す。東区のウォーキングコースを散策していただくことにより、世代間の交流や健康の増進を図ることができる。	年間配布部数	580部	820部	2,200部
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 区内外への地域資源や魅力の発信は公益性があり、区が実施主体となる必要性があるため、区での実施が妥当である。	○ 区民からの発案・企画に基づき、協働して作成している。	○ 区域の見どころを写真とともに紹介し、地域資源を楽しみながら健康増進ができる当マップは区域の特色を活かした事業である。	○ 区民のアイデアとマンパワーを活かしている点で効率性は高い。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 当事業は掲載内容の正確性や掲載施設との調整、区外への情報発信が必要であるため、行政が実施すべき事業である。	○ 今年度も引き続き健康増進や観光ガイドマップとして活用いただくなど、利用者の皆さんから好評をいただいている。広報さかい区版1面で当マップを大きく紹介したことや市政情報コーナーの目立つ所に配架したことで、区民の方の認知度が高くなり、手に取る方が例年に比べてかなり多くなった。これに伴い、同封のクイズラリーについても参加者が多くなり、区内の歴史資源や観光名所などへの関心・愛着の向上や区民の健康増進に役立っている。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
継続	今後も利用者の方の情報や提案に応えられるよう、掲載内容の更新を行ったうえで当マップの配布を行う。 新型コロナウイルス感染症を考慮しながらも、別途区内生活における利便性の向上を目的として作成している「東区ふれあいマップ」と同時に配布し、より多くの方へ届けられるようにする。				